

認め合うこと、高め合うこと【高校】

- 1 主題名** 共に高め合える関係とは **内容項目** B 友情、信頼
- 2 ねらい** 多様な考えをもつ登場人物たちの気持ちについて考える活動を通して、相手との立場や考え方の違いを乗り越え、真の友情やよりよい信頼関係を築くために、共に寄り添いながら考え続ける態度を育む。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導 入	1 スマートフォンを使ってやっていること、できることについて考える。	・生徒にとって身近なスマートフォンの使用方法について考えてみる。その際、時に便利さとは違う側面があることにも留意できるようにする。
展 開	2 教材「認め合うこと、高め合うこと」を読み、話し合う。 (1)Bはなぜ、Eに対して怒ったのか。Bの本心はどんな気持ちか。 (2)Cは、どんな友人関係が理想と考えているのか。 (3)Dは、Eのどんな気持ちが分かると考えているのか。 (4)なぜEはAに先ず相談したのか。AはEに対して、どんな気持ちをもっているのか。 3 Aたち5人のグループが、真によりよい関係を築くためには、どうしたらよいか考える。	・B～Eのそれぞれの発言の理由になっている道徳的価値（【I】内）についても触れながら考えさせる。 ・Bの怒りの裏にあったEに対する友情、信頼の気持ちについて気付かせる。【B友情、信頼】 ・Cの友情、信頼の基準について考えることで、人による価値観の違いについても考えさせる。【A自主、自立、自由と責任】 ・Dを通して、Eの気持ちに共感させるとともに、真の友情、信頼のための相互理解の必要性について気付かせる。【B相互理解、寛容】 ・「Aなら私の気持ちわかってももらえるかもしれない」というようなEの気持ちから、Aの共感する姿勢に気づき、3の考察につなげる。【B思いやり、感謝】 ・集団の中で相手との立場や発言の理由になっている道徳的価値の違いに留意しつつ、その上で互いを認め合い、真の友情や信頼関係をどうしたら築いていけるかについて考えさせる。
終 末	4 本時の学びを通して、振り返る。 ・スマートフォンの使い方に関する新聞記事等をもとに考える。	・感想シートを準備して、記入させる。 ・スマートフォンの使い方やよりよい人間関係の築き方について、考え続ける姿勢づくりを意識する。新聞記事等を活用することも考えられる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

BYOD回線の整備などによってスマートフォンなどICT機器の活用は、現在の高校生にとって家庭はもちろん学校内でも大変身近なものになっている。しかし、その便利さの反面、対面でのコミュニケーションが減少していることや、学校外でも友人と過度に密接につながることで、トラブルに発展したり、人間関係に悩み、葛藤したりする生徒も増加している。そのため、スマートフォンとの向き合い方について考えながら、集団生活の中で相手との立場や考え方の違いに留意しつつ、その上で真の友情や信頼関係を築き、認め合い、高め合える関係づくりを進めるために考え続けられるよう留意したい。